

# 福井県退教通信

編集・発行所  
福井県退教職員会  
郵便番号 910-8544  
福井市大手2-22-28  
福井県教育センター内  
電話 (0776)23-9191

第59号

## コロナ禍の中で

新型コロナウイルス感染症が日本で確認され、拡大し始めてから既に1年半も過ぎようとしています。福井県においてもなかなか収束の様子が見えず、県は独自の「緊急事態宣言」を发出、不要不急の外出、大人数での会食などの自粛を求めています。この状況を鑑み、今年度の

2021年度スローガン  
**今を生きる**  
～つながり合って～

平和、生活向上、組織拡充の  
取組  
親睦・交流・生きがい希求の  
促進  
よりよい教育実現への支援、  
教職員の支援

「第46回定期総会」はやむなく「中止」としました。協議事項等については、書面をもって各支部にお諮りし、活動方針・スローガン、事業計画等のご承認をいただきました。(※協議事項等については2020年度代表者会において協議し、承認されています) 職場を離れた私たちにとつて、限られた時間の中での仲間との交流は貴重であり、活動の源であり元気の源です。

活動の困難さはありますが、このような時だからこそ、会員どうし、つながりを持ち続けることが大事なのではないでしょうか。

まだしばらくは密を避けマスクでの生活が続きますが、早く安全・安心な生活を取り戻すことができるよう、お互い元気に過ごしていきましょう。

### 2021年度主な行事

4月	会員勧誘活動
5月	支部総会(～3月)
6月	11 日退教定期総会(東京) <b>書面</b> 16～17 北プロ定期総会(新潟) <b>書面</b> 25 第45回定期総会 <b>書面</b>
8月	1 教育請願署名活動 21 退教通信第59号発行 教職員体育大会(奥越)
11月	6 教研集会 9～10 親睦旅行(南紀を巡る)
12月	1 退教通信第60号発行
2月	中旬 退職者入会説明会
3月	2 代表者会

今年度の親睦旅行は、3度目のご案内になりますが、秋に実施予定です。コロナが収束し、安全・安心な中で実施できることを信じています。

### 2020年度決算

#### [収入の部]

項目	決算額
会費	2,359,000
入会金	335,000
助成金	850,000
繰越金・他	401,661
合計	3,945,661

#### [支出の部]

項目	決算額
印刷費	397,980
事務費	671,571
総会・会議費	532,703
支部活動助成費	1,224,014
旅費・負担金	145,440
親睦費・賃借費他	283,323
積み立て金	200,000
繰越金	490,630
合計	3,945,661

### 2021年度予算

#### [収入の部]

項目	予算額
会費	2,400,000
入会金	400,000
助成金	850,000
繰越金・他	490,650
合計	4,140,650

#### [支出の部]

項目	予算額
印刷費	450,000
事務費	690,000
総会・会議費	660,000
支部活動助成費	1,415,000
旅費・負担金	300,000
親睦費・賃借費他	330,000
積み立て金	100,000
予備費	195,650
合計	4,140,650

### 2021年度役員・支部長一覧

◆ 会長  
池上 敏和

◆ 副会長  
小林 賢三

◆ 常任委員  
福井 桑原さとみ

◆ 監査委員  
奥越 吉坂 井  
鯖丹・南越 嶺南

◆ 顧問  
菅谷 淑子

◆ 支部長  
福井 野田 井  
吉田 野田 井  
大野 野田 井  
勝山 野田 井  
坂井 野田 井  
鯖江 野田 井  
丹生 野田 井  
武生 野田 井  
今立 野田 井  
南条 野田 井  
敦賀 野田 井  
三方 野田 井  
小坂 野田 井  
大坂 野田 井  
編集委員 飯 野田 井

◆ 事務局  
担当書記 野田 井

次長 塚田 野田 井  
次長 政実 野田 井  
事務局長 山崎 野田 井

野田 野田 井  
政実 野田 井  
塚田 野田 井  
山崎 野田 井

岩田 野田 井  
松枝 野田 井  
福島 野田 井  
野路 野田 井  
小堀 野田 井  
河合 野田 井  
岡本 野田 井  
米野 野田 井  
小林 野田 井  
近藤 野田 井  
松山 野田 井  
岸松 野田 井  
細江 野田 井  
新門 野田 井  
川端 野田 井  
藤田 野田 井  
廣瀬 野田 井

奥本 野田 井  
野坂 野田 井  
林 野田 井  
菅谷 野田 井  
坪田 野田 井  
武内 野田 井  
高岸 野田 井  
小森 野田 井  
近藤 野田 井  
高木 野田 井  
小西 野田 井  
土田 野田 井

野田 野田 井  
明義 野田 井  
野坂 野田 井  
林 野田 井  
菅谷 野田 井  
坪田 野田 井  
武内 野田 井  
高岸 野田 井  
小森 野田 井  
近藤 野田 井  
高木 野田 井  
小西 野田 井  
土田 野田 井

野田 野田 井  
明義 野田 井  
野坂 野田 井  
林 野田 井  
菅谷 野田 井  
坪田 野田 井  
武内 野田 井  
高岸 野田 井  
小森 野田 井  
近藤 野田 井  
高木 野田 井  
小西 野田 井  
土田 野田 井

野田 野田 井  
明義 野田 井  
野坂 野田 井  
林 野田 井  
菅谷 野田 井  
坪田 野田 井  
武内 野田 井  
高岸 野田 井  
小森 野田 井  
近藤 野田 井  
高木 野田 井  
小西 野田 井  
土田 野田 井

野田 野田 井  
明義 野田 井  
野坂 野田 井  
林 野田 井  
菅谷 野田 井  
坪田 野田 井  
武内 野田 井  
高岸 野田 井  
小森 野田 井  
近藤 野田 井  
高木 野田 井  
小西 野田 井  
土田 野田 井

野田 野田 井  
明義 野田 井  
野坂 野田 井  
林 野田 井  
菅谷 野田 井  
坪田 野田 井  
武内 野田 井  
高岸 野田 井  
小森 野田 井  
近藤 野田 井  
高木 野田 井  
小西 野田 井  
土田 野田 井

野田 野田 井  
明義 野田 井  
野坂 野田 井  
林 野田 井  
菅谷 野田 井  
坪田 野田 井  
武内 野田 井  
高岸 野田 井  
小森 野田 井  
近藤 野田 井  
高木 野田 井  
小西 野田 井  
土田 野田 井

ご挨拶

コロナ禍に思う

—— 当たり前の日常を願う ——

会長 池上 敏和



令和2年から続いているコロナ禍により、私たちが当たり前のよう過ぎてきた日常が失われてしまっている。

感染リスクのため、3密を避ける日常生活を強いられている。そのため、

- ・ 多人数の会合
- ・ 会合の後の研修会や懇親会
- ・ 大人数による会食
- ・ 不要不急の外出
- ・ 県外への旅行

などが制限されている。また、マスク生活が余儀なくされ、今まで当たり前だった日常が当たり前でなくなっている。

このような現状のため、私たちが人間関係を維持するために必要な「絆」を結ぶことが困難になってきている。街や会合で古い友人に会って、マスクをしている顔を見ても、一瞬に「誰だったか」思い出せないことが多々ある。今まで、「飲み会」で友人と「絆」を深めていたが、それも出来ないのが現状である。

また、退職後の楽しみの一つである家族や友人との旅行も出来ないでいる。コロナ禍の影響は、県退職教職員会においても大きな支障をきたしている。

まず第一に「新入会員の募集」があげられる。コロナ禍の影響により、退職者説明会が開催されず、退職者の皆さんにじかに入会の勧誘が出来ない現状である。これも入会者の減少に影響しているように思う。

また、県退教及び支部総会の開催が見送られ、会員の皆さんの「生の声」を聞くことができず、会員同士の「絆」を深めることに影響しているように思う。

このように、今まで当たり前の日常が当たり前でなくなっている。積極的にコロナワクチン接種をして、一日でも早く、コロナ禍を克服して、当たり前の日常を取り戻して、当たり前の生活を送りたいと願っている次第である。

さらに、県退教の事業も当たり前の活動となるよう、願っている今日この頃である。皆さん、ともに「コロナ禍」に打ち勝ちましょう。

コロナの収束を念じ、3度目のご案内をします。是非コロナワクチンの接種をしてお申し込みをお願いします！

南紀を巡る…

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」と南紀勝浦温泉

1. 期日 11月9日(火)～10日(水) (1泊2日)
2. 行先 和歌山
3. 費用 43,000円(予定) 退職互助会の宿泊利用補助券も使用できます
4. 募集 80名(先着80名とさせていただきます。早めにお申し込みください。)

参加希望者は9月24日(金)までに〒910-8544 福井市大手2-22-28 県教育センター内 県退教宛 ハガキで申し込んでください。  
※氏名・年齢・性別・郵便番号・住所・電話番号を記入のこと  
参加者には10月中旬に資料を郵送します。

1	11月9日 火	福井各地(越前大野駅6:00～敦賀駅8:15ごろ)＝(北陸・伊勢道)＝尾鷲(昼食)＝那智の滝(高さ133m日本一の大滝)＝熊野那智大社(参拝)…那智山青岸渡寺(西国三十三ヶ所第一番の霊場)＝熊野古道「大門坂」ウォーク(約30分)＝南紀勝浦温泉(泊) ☺那智山と熊野灘を眺望する名湯
2	11月10日 水	ホテル(8:30)＝志古～(瀬峡めぐり)～志古(昼食)＝熊野本宮大社(全国4700社を超える熊野神社総本宮)＝谷瀬の吊り橋＝橿原＝(京滋バイパス・北陸道)＝福井各地(敦賀駅18:45～越前大野駅21:00ごろ)

※ お食事は1日目昼食から2日目夕食(弁当)を含みます。  
※ 交通状況や施設・機関の都合により記載時間、行程に変更が生じる場合があります。



地域の宝

『前田利家が築いた府中城の石垣』

武生支部 真柄 甚松

下の写真は現在の越前市庁舎と築かれた石垣です。この石垣は市民運動の象徴であり、まずので紹介いたします。

市庁舎地域一帯はかつて武生東小学校、江戸時代は本多氏の館、それ以前は府中城、その前は朝倉氏の府中奉行所が置かれ、古代には国分寺があった可能性があり、歴史的には極めて重要な場所です。

市役所本庁舎新建設に伴い、平成27年から同29年にかけて発掘調査が行われました。その結果、東部域から南北に40メートルを超える石垣が発掘されました。正に前田利家が築いた「府中城」の石垣と直感しました。



発掘された石垣群

市は、当地の地域性を鑑み「発掘調査の結果如何なるものが出土しても撤去し設計通り建設を進める」との方針を出しました。このことを知った市民は、「府中城址保存の会」を立ち上げ、石垣保存運動を展開することになりました。



府中城石垣についての研究会、現地現状保存請願署名活動、石垣群保存請願書提出、市民集会決議書提出、市民へアピール市内行進、市議会傍聴、市民へ現地説明会等、市民に呼びかけ、次世代に武生の宝を伝えるべく運動し、多くの市民の賛同を得ることができました。

平成29年9月1日市議会審査によって要請した請願は不採用になりましたが、新庁舎の広場に出土した石垣群は忠実に再現し保存することになりました。一部変更される結果となりましたが、多くの市民のエネルギーを結集した結果です。



教師のバトンは重たいけれど…

福井県教職員組合 執行委員長 勝見 義治



〈初任で未経験の運動部顧問になりました。土日は練習や大会で消えていき(略)休みもなく働いた結果、自殺を考えたようになりました。うつ病でした〉(残業代が出てたら、もうとっくに家一軒建っている。家一軒分の労力をやりがいとささげる仕事、それが教師)これらのつぶやきは「#教師のバトン」プロジェクトに投稿されたツイートです。今年3月、文科省は教師の魅力

最も期待されているのが、定年退職した先生方です。今年、県教委は再任用の募集要件をフルタイムのみとしました。常勤講師を確保するための苦肉の策ですが、皮肉なことに退職を迎えられる先生方からは「だったら再任用は受けなさい」という声が多く、再任用者数の減少が懸念されます。

その背景には、教員志願者の減少傾向があります。しかし蓋を開けてみれば、ツイッターには過酷な労働環境を訴える教員の悲鳴のような投稿が相次ぎました。

一方、今年3月末、学級の児童の定数削減のための法律が施行されました。約40年ぶりの改善です。諸先輩方のこれまでのご尽力に感謝するとともに、よりよい教育環境を次世代につなぐためには長い時間と労力を要することを改めて感じていきます。冒頭の「#教師のバトン」のツイートの次のようなものがあります。(生徒から「教師になりたいんだけど不安です」と言われることがある。僕は「教師だけはやめておけ!」とは言わない。「君が就職する頃には今より少しでもマシになるように頑張るわ」と言っている)

武生では国府の核にあたる「国庁跡」がまだ発見されていません。これこそ守らなければならぬ埋蔵文化であり、地域の宝です。そのため府中城址保存の会は「越府史学会」を組織して埋蔵文化財を注視することにしました。

まだまだ教師のバトンは重たいですが、少しでも受け取りやすいバトンになるよう今後も力強く取り組みを続けていきます。どうぞ今後とも県教組へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

## 仲間と共にヨガ体操

南条支部 西川由紀子

「背中が丸くなっているよ」と家族や友人から何度も指摘され、これはまずいと思いました。そこで、今庄住民センターで開かれている「スマイル(楽活)健康ヨガ体操教室」に参加するようになりました。水曜日、午前中の1時間、50代から70代の20数名がチューブや棒を使って、ストレッチや全身運動を行い、正しい姿勢が保てるようがんばっています。

「人と比べない、自分の体と相談して、今できることを続けていこう」が教室のモットーです。寝転んで手足を上げてぶらぶらする運動は1分間はきつくてしかめっ面になります。講師の先生から、すかさず「皆さん、笑顔ですよ。」とアドバイスが飛びます。一人では続かないこともみんなで行うと、取り組めるから不思議です。途中、講師の先生の投げかけで、桜の開花を予想したり、蛍の情報を伝えたり、畑の作物状況を教え合ったりと地域や季節の話題で盛り上がります。

ヨガの太陽礼拝のポーズを終え、マットに静かに横になるとき、窓から心地よい風が吹き抜け、身体も気持ちもすっきりします。

「自分の身体に感謝、周りの家族や環境に感謝の気持ちを込めて、ナマステ」と挨拶を交わし、皆さん笑顔で帰宅につかれます。

教室に参加して4年、スーパーで会った時などにも、声をかけ合えるのもうれしいことです。これからも、フレイルを予防し、健康寿命を伸ばすために、地域の皆さんと長く続けていきたいと思っています。



## 人と人とのつながりを

坂井支部 谷川 辰夫

派遣社会教育主事時代からのつながりで、生涯学習グループ「みくにみらい塾」の活動をしています。このグループは三国が大好きな人が集まっている会で、歴史・自然文化・食文化の3つの部会に分かれています。それぞれの部会がいろいろな企画をしています。

また三国だけでなく、いろいろな地域から人が集まっています。

学習も遊びもするということなので、もう30年も続いています。自然文化部会は、毎年1回自然散策をしています。今年は鷹巣遊歩道の散策で鷹巣海水浴場から亀島まで植物の話を聞きながら歩きました。帰りには鷹巣温泉に入って疲れをいやしました。大人の遠足というのもあって昔は日帰りの旅でしたが、最近は1泊の旅に変わりました。一昨年は丹波篠山の旅で丹波篠山城や明智光秀の福知山城などを見学してきました。そこで地域の人のお話を聞きながら三国の町に思いを馳せるのがねらいです。新型コロナのため去年は行けませんでした。今年は能登半島の旅にチャレンジです。

歴史部会は三国の町を見て歩くということで、今年は日和山金鳳寺から勝授寺(通称なかんてら)、久昌寺(通称らんかんさん)を回りました。みくに地区まちづくり協議会と共催でしたので38人が参加してくれました。三国の知られていない素晴らしさがわかったと好評でした。

食文化部会は3月ごろに「うんまいもん」の会を開きます。これは食文化担当の人たちが三国にちなんだ料理を作り、みんなで交流する活動です。お酒を飲みながら1年の活動を振り返るよい機会になっています。楽しみながらみんなで交流することが「みくにみらい塾」の長続きの秘訣かもしれません。



るのも、地域での活動の一環である。

地域の中で活動することにより、宮崎地区の良さ、自然のあり

がたみなどを子どもたちに伝え、生まれ育った地域への愛着を深めていきたい。そして子どもたちが大人になっても、現在のように「おはよう」「こんにちは」とお話し声かけをしていきたい。



◀ 田んぼアート



### 保育園児とともに

おい支部 西 忠彦

長年教員をしてきたが、地域の事には手が回らなかったように思う。そのお返しをしたいと、ここ 15 年間ほど名田庄こども園園児と農業活動をしている。5 月に田植え、6 月にかかし作りと看板作り、9 月に稲刈り、11 月にはその出来たお米を使ってかまどでご飯を炊いて食べている。どろんこの田んぼへ入るのを嫌がる子も、帰りにはにこにことして帰る。

自分で書いた看板の絵を、夕方になるといつもじいちゃんと見に来る子。「かかしさん、スズメさんを追っ払ってくれてありがとう」と手を合わせてお母さんの車に乗り込む子。稲刈りで尻もちをついてお尻についた泥にもにこにこの女の子。火を見ることさえ少ない現代っ子には、薪を使ってご飯を炊く作業が入る。火吹き竹の威力に感嘆の声。

覚えてのたどたどしい字で、感謝の手紙が届く時はとてもうれしい。80歳に秒読みとなったが、歳にも病気にも負けないで、力の続く限り活動を続けていきたいと思っている。

自然災害等思わぬ出来事が頻発する現代。その中で逞しく生きられる子であってほしいといつも願っている。



### 高齢者も学びたい

大野支部 藤下 昌幸

或る喫茶店で、<sup>さくせんしゃ</sup> 鑿泉者の方と話して「定時制で数学を学んだのみだが、対数グラフを使って掘る深さを見きわめ

ている。また、よく微分・積分が書類に出てくるので、一度きちんとそういう数学を知りたい」という事でした。後日、図書館職員の方から大人を対象にした数学勉強会を、私に講師をと勧められ受けることにしました。早速、鑿泉者に話して図書館の募集に応じていただき、2016 年 5 月から『大人の数学勉強会』という名称で出発しました。

江戸後期大野藩の名君土井利忠公は大野藩の藩政改革の一つに、藩校洋楽館(明倫館)を開設し、緒方洪庵の適塾の塾頭伊藤慎蔵氏を招聘し、数学・医学等の学問を学ばせ、多くの人材を輩出しました。講義の最初に池田町の神社の算額を写真で紹介し、微積分の創始者のライプニッツやニュートンの話も話しました。その後、数の計算の面白さの体験として、「1 から 1000 までを足す」という問題の解決を考え合う勉強会として出発しました。



依頼今日まで毎日午後 1 時から 2 時半、図書館の講義室を使って 2 人の講師と 11 人のメンバーで行っています。「分からない」と言いながらも、つきない興味を糧に勉強会は続いています。

基本的に頭の体操というので気楽に運営しています。学習内容はおおむね以下の事柄です。

- (1) 面白計算 (2) 数列の和、 $\Sigma$  使う計算 (3) 三角・指数・対数関数
- (4) 竹内淳氏の「微分・積分復習帳」輪読 (5) 2 進法・デジタル数学
- (6) 確率・2 次曲線

現在は、現行の数学 B の内容を勉強中です。参加希望がある方は、どうぞ大野公民館へお申し込みください。



### 地域の中で

丹生支部 近藤 洋子

退職後、いくつかの地域の団体に所属して活動しているが、その所属団体の中のひとつである宮崎コミュニティ運営委員会の活動の一端を紹介したい。平成元年に編集された「宮崎こども昔話」の再生である「宮崎こども昔話」の紙芝居づくりである。作り始めて 5 年が過ぎた今、11 冊の紙芝居が出来上がった。昨年度作成したのは訓導「医王吾延壽(いおうごえんじゅ)」である。大正年間、宮崎尋常小学校陶の谷分校の裏山が大雨で崩れた。山に接していた分校は巻き込まれ崩壊した。この時、医王吾延壽は分校の訓導として勤務し、いち早く山崩れに気付き子どもたちを逃がしたが、逃げ遅れた子どもたちを助けるため、校内に残り校舎ともに巻き込まれ殉職した。今も陶の谷保育所(分校跡)に石碑が建てられている。

宮崎中学校下の田んぼに、赤や白、黄色などで彩られた田んぼアートを 6 月中旬から 8 月にかけて見ることができる。「田んぼアート in 樫津実行委員会」が行っている事業である。デザイン画を地元小中学生から募集し、子どものアイデアを田んぼに描くのである。今年は「牛に乗った菅原道真公」である。中学 3 年生の「菅原道真公の知恵と、天満宮の守り神の牛を組み合わせ、コロナウィルス退治を願っている」というアイデアから生まれた。子どもたちと共に田植えをし、9 月には稲刈りを行う。この委員会の事務局を担当し、小中学校との連携に携わってい

# お元気ですか！

年齢を重ねても、今なおいきいきと活動されている方を訪問し、長寿や豊かな生き方の秘訣についてお話を伺ってきました。(訪問者・編集委員)

林 幸男さん(福井支部)



## 〈現職時代の思い出〉

一番の思い出は、何と云っても初任校の勝山市北郷小岩屋分校です。自転車通勤すると伝えると校長先生から、「自転車のペダルは踏まなくていいよ。」とのアドバイス。なんとその訳は、山の急な坂沿いに校舎があるので、行きは自転車を押して上がり、帰りは一気に下るからペダルは踏まないということでした。

児童数は、1年から6年までが14人で1クラスの単学級です。体育・音楽・図工などは一緒に学びますが、その他の教科は、自分で教科書を見ながら進め、わからないことを教師に聞きます。この学校では、教師の指示待ちではなく自主学習です。これが、子どもの力を大きく伸ばす鍵であるとともに、へ

き地教育の良さだと感じた3年間でした。

学校の宿直室には村中でたった1台しかないテレビがあり、村の人がよくテレビを見にやってきました。また、週2回の五右衛門風呂に、一番先に入らせてもらい、その後子どもたちも入りました。38年の豪雪の時は村中の物資が途絶えたので、ヘリコプターで食料が校庭に落とされてみんなで分け合いました。

その春異動となり、まだ道に雪が多く残っている中を村人が5km先の駅まで荷物を運んでくれました。その思い出深い人たちは、退職後も講演に行くなどして今でも付き合いがあります。

## 〈退職してからの日々〉

退職した年、秋に完成を迎える美山木ごころホールの館長就任を要請されました。そこで、完成式典には、今まで関わってきた美山の民話を脚本にして美山の人たちで劇にしようと考えました。私は手書きの館長だよりで、『木ごころ一座』の構想を発表し団員募集を始めました。



すると、すぐに50名近くの団員が集まり、劇団の練習を始めました。多くの人の関わりの中で民話劇の発表は大成功でした。この劇団は、21年間続けることができました。この中で特に子どもたちの発声や表現力が向上したことや、地域のつながりが深まったことなどがとてもうれしく思っています。

また、私が住んでいる蔵作という集落の16人で『バーズ』という劇団を立ち上げました。全国各地をまわり、12年間で2



50回公演を行いました。福井弁での民話劇で、普通のおばさんやおじさんがステージで拍手喝さいを受けました。多くの練習や公演後に美味しいものを一緒に食べたり話したりすることで、生きる喜びと地区の団結力を強く感じました。これらの活動ができたのは、私が大学で演劇部に入っていたこともありますが、共に活動を支えてくれた家内のおかげだと深く感謝しています。

また、美山を愛し描き続けた豊田三郎先生の随筆集や画集出版、さらに個展開催に尽力しました。描いた絵に先生がつける題名からも、美山の良さに気づき多くのことを学びました。先生が書かれたたくさんの手帳の中から短歌を選び出す作業の際は、奥様への愛情あふれる短歌を見つけて思わず涙することもありました。

## 〈今の楽しみ〉

現在は、福井市在住の方と『幸齢者』という劇団を立ち上げて、

11年目を迎えています。週1〜2回練習の機会をもち、施設やイベントで発表の場を持っています。

また、毎日朝6時に起きて、仏壇でいろいろなお経をあげます。それからテレビ体操を30年近く続けています。規則正しい生活のおかげで体調も良く、コカリナやハーモ二力なども仲間と共に楽しんでます。

## 〈若い人に〉

仲間を大事にしてほしいと思います。趣味を持ち続けてください。退職後も仲間と一緒に活動する楽しみがあると、充実した人生が送れるのではないのでしょうか。



「バーズ」東京公演 於：東京池袋グリーンシアター

# 2020年度 支部の活動状況

## 福井

〈支部長〉廣瀬 行雄  
〈会員数〉751名 〈会費〉2000円

- 総会・研修旅行中止
- 交流の会実施、理事会3回開催
- 通信「カタイケノー」2回発行
- 「カタイケノー教育実践特集号」発行

## 吉田

〈支部長〉藤田 陸夫  
〈会員数〉111名 〈会費〉1500円

- 総会・研修会・懇親会中止
- 1日研修中止
- 退教通信配付、署名活動
- 入会勧誘活動実施

## 大野

〈支部長〉川端 寛治  
〈会員数〉137名 〈会費〉2000円

- 総会・研修旅行中止
- 会員の声「響」発行、配付  
… 35名

## 勝山

〈支部長〉新門 潔  
〈会員数〉147名 〈会費〉1000円

- コロナの影響で総会中止  
議案は理事の紙上承認
- 役員会・理事会の開催
- 「なにか一言」集の発刊R3.4
- 署名活動

## 坂井

〈支部長〉細江 悦雄  
〈会員数〉283名 〈会費〉1000円

- 総会・地区役員会・校区委員会9/5
- コロナ禍により例年の活動中止
- R3について、ランチ会、研修旅行は中止

## 鯖江

〈支部長〉伊藤 敏晴  
〈会員数〉205名 〈会費〉1000円

- コロナ禍で具体的活動ほぼできず
- 会員勧誘活動・年会費集金活動
- 喜寿祝品贈呈6名
- 総会資料、退教通信配付
- 署名活動

## 丹生

〈支部長〉松山 文雄  
〈会員数〉120名 〈会費〉2000円

- コロナの影響で総会中止
- ゴールド会員制80歳以上500円  
例年は会費2000円、ゴ1000円
- 県退教通信配付・署名活動

## 武生

〈支部長〉近藤 数信  
〈会員数〉209名 〈会費〉1000円

- コロナの影響で総会・親睦会中止
- 地区代表者会の開催9/28
- 退教通信配付・教育請願署名活動

## 今立

〈支部長〉小林 賢三  
〈会員数〉37名 〈会費〉1500円

- コロナ禍でほとんど活動できず
- 退教通信配付・教育請願署名活動

## 南条

〈支部長〉米野 眞一  
〈会員数〉36名 〈会費〉1000円

- 総会、研修会、懇親会の開催  
11/11

## 敦賀

〈支部長〉岡本 章  
〈会員数〉20名 〈会費〉1000円

- コロナ禍で、会合等も含め全く活動せず

## 三方

〈支部長〉河合 政志  
〈会員数〉39名 〈会費〉1000円

- コロナ禍で会員の集い中止
- 研修旅行中止
- 署名活動の実施
- 退教通信配付で会員とのつながり保つ

## 三方上中

〈支部長〉小堀 善信  
〈会員数〉82名 〈会費〉1000円

- 総会・研修会・懇親会中止
- 役員会の開催 6回

## 小浜

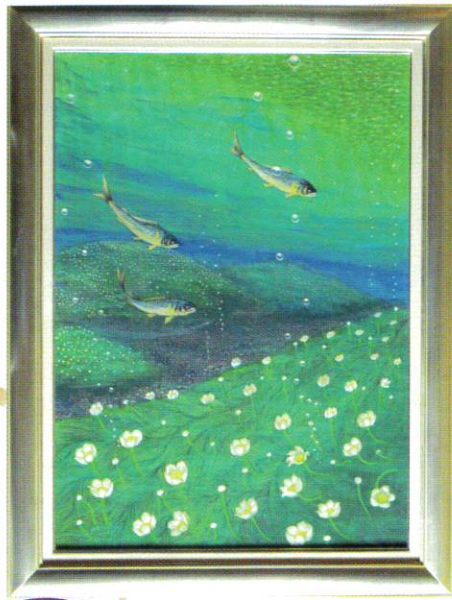
〈支部長〉山田 弘  
〈会員数〉114名 〈会費〉1500円

- コロナの影響で大飯支部と合同の総会、研修会、懇親会中止
- 会員の拡大

## 大飯

〈支部長〉福島 紀男  
〈会員数〉48名 〈会費〉1000円

- コロナの影響で小浜支部と合同の総会、研修会、懇親会中止

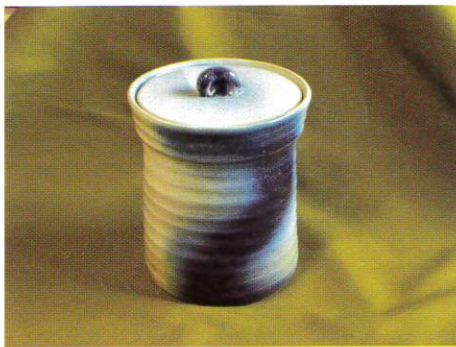


日本画 「清流の花畑」角谷 和子 氏



水彩画 「たそがれの東京駅」 大塚 貴代栄 氏

県退教ミニギャラリー 作品より



陶芸 「水指」五十嵐 寛子 氏



押し花 「大根の変身」(左) 「ペタル コラージュ」(右) 竹森 千津恵 氏

**ミニギャラリー 作品募集**

◎ 絵画・写真・工芸手芸  
品・書・短歌俳句等  
お気軽に出品下さい。  
ご連絡は県退教へ。

◎ 心に残る作品が出品されていきます。近くへお越しの折はぜひご鑑賞下さい。

会員物故者氏名 (敬称略)  
(令和3年6月30日現在)

謹んでご冥福をお祈りします。

澤村和子 92	松田好明 93	山本文子 91	石塚之彦 86	村上純子 90	杉田英郎 83	小川義典 92	高橋みつ子 93	近藤義郎 89	北山仁丸 94	梅田豊一 93	梅田秀彦 98	【福井支部】	西行明 87	禅定智子 92	安川嘉雄 74	【勝山支部】	齊藤国三郎 100	皿澤賢一 77	【坂井支部】	島田巖 84	【鯖江支部】	澤昌広 88	野形俊枝 84	瀬戸川一鶴 84	西山鶴子 80	【丹生支部】	前田美智子 90	川岸絢子 77	藤井寛之 91	【武生支部】	魚谷すて子 97	服部迪子 90	【三方支部】	今村久枝 98	【小浜支部】	笹川真照 98	松本榮爾 92	城谷義人 97
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	----------	---------	---------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	--------	-----------	---------	--------	--------	--------	--------	---------	----------	---------	--------	----------	---------	---------	--------	----------	---------	--------	---------	--------	---------	---------	---------

編集後記

コロナ感染者数が落ち着いていた時に、「お元気ですか」の取材をさせていただくことができました。林先生の退職後も変わらず地域でご活躍されているお姿に接し、敬服するとともに唯々感動するばかりでした。そして、毎日を無為に過ごしている自分自身を叱咤激励する機会ともなりました。

林先生をはじめ、お忙しい中を本号にご協力くださいました皆様に深く感謝申し上げます。

次号をお届けする頃は、子どもたちのはしゃぐ声や大人の笑い声がより多く聞こえていますよう、願ってやみません。最後に会員の皆様のご健康を心よりお祈りいたします。

(小西信子・松枝恵子・岩田美智恵)